

第 1 回 富士見町行財政改革推進審議会 会議録

令和 8 年度からの新たな行財政改革の推進に向け、住民代表や有識者による審議会を開催しました。本会議の概要および委員から出た主な意見は以下の通りです。

1. 開催日時・場所

- 日時:令和 8 年 5 月 26 日(火)午後 7 時～
- 場所:富士見町役場 3 階 会議室

2. 議事概要(開会・選出・公開について)

- 委嘱書交付
- 委員 12 名(男性 6 名、女性 6 名)
- 会長・副会長の選出:立候補なし。事務局より会長 飯田幹夫氏及び副会長 佐久知子氏を推薦⇒各委員同意
- 審議会の公開について:議事録については「要約」を公表すること。一方で、委員が自由闊達に意見交換できるよう、委員個人名は非公表とすることが決定されました。

3. 事務局による説明事項

事務局より、町の現状と今後の改革案について以下の 2 点の説明を行いました。

1. 富士見町の財政状況について
2. 富士見町行財政改革基本方針・アクションプランについて

詳細は添付ファイルをご確認ください。

4. 委員から出た主な意見(一部要約整理)

事務局の説明に対し、委員からは住民(〈住民委員〉)の視点や専門的(〈識者委員〉)な視点から多くの意見が出されました。

■財政状況について

〈住民委員〉

- 財政危機とは具体的にどのような状態を指すのか、いつ頃から危機的なのが分かりにくい。
- 町債(借金)の仕組みや返済の考え方など、基本的な知識についても理解を深めたい。

- ・住民に説明する際に、危機的な状況の内容を分かりやすく伝えられるようにしてほしい。

■資料や説明のわかりやすさについて

〈住民委員〉

- ・現在の資料は専門的で理解が難しく、住民向けにはより分かりやすい説明が必要。
- ・橋梁や公共施設などの具体的な事例や金額を示すことで、実感を持って理解しやすくなる。
- ・用語や指標は日常生活に置き換えて説明してほしい。

■行財政改革の具体的な方向性と課題

〈識者委員〉

- ・行財政改革は単なる削減ではなく、将来への投資に回せる財源を確保することが重要。
- ・物価や人件費の上昇を前提に考える必要があり、人材確保の観点も重視すべきである。
- ・必要性の低い事業の見直しや、重点的に取り組む施策を明確に示してほしい。

■住民周知について

〈住民委員〉

- ・改革内容や将来への影響を具体的に示すことで、住民の理解や協力を得やすくなる。
- ・基金減少の背景やこれまでの対応についても説明が必要である。
- ・若者を取り込む視点も重要である。

■審議会の役割と今後の進め方

〈住民委員〉

- ・審議会として何を目指し、どのような答申をまとめるのかを明確にしてほしい。
- ・財政に関する基礎的な学習機会や勉強会があると議論に参加しやすい。
- ・「ここだけは理解してほしい」というポイントを示してもらえると検討しやすい。

5. その他・今後の予定

次回(7/29)の審議会では、より深い理解のための勉強会の実施や、個別施策の具体的な検討に入る予定です。